

# 川村ひろあき活動レポート

2010.03.28 Vol.61

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町480-6

## ◎平成22年度千葉市当初予算のあらまし

平成22年度千葉市当初予算については、既に新聞報道等で明らかになっておりますが、平成22年第1回千葉市議会定例会で、自民党、公明党、新政ちばの3会派提出の修正案が可決されました。〔ちなみに、修正案は自治会関連費など6000万円が予備費などから付け替えられたもので、総額は変わりません。〕

一般会計が前年度比4.6%増の総額3504億円。歳入に占める自主財源は2251億1400万円で、歳入総額に対して64.3%で前年度比5.0ポイント減です。

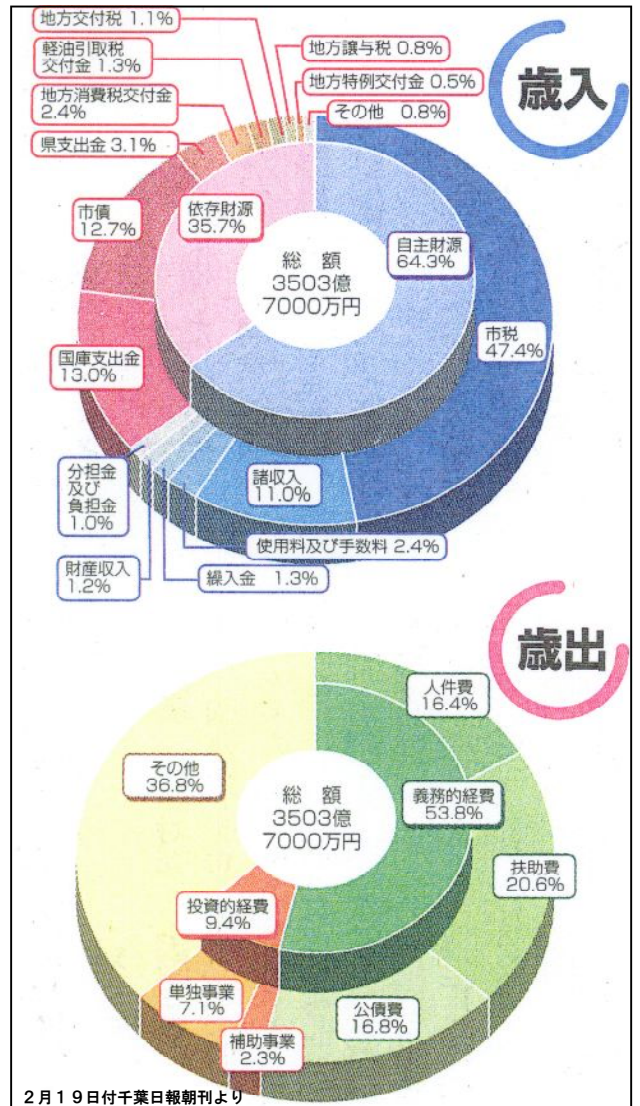
歳出では保健福祉の分野である民生費が17.8%増の1129億円、道路整備・都市整備等の土木費が6.7%減の446億円、産業振興等の商工費が27.9%増の332億円、小中学校・生涯学習活動等の教育費が0.5%減の287億円、防犯・防災、自治会振興等の総務費が13.5%減の282億円、健康・医療等の分野である衛生費が11.6%減の279億円、消防費が2.1%減の115億円等の構成となっております。

特別会計（18会計：企業会計を含む）は前年度比5.1%減の3702億2800万円で全会計を合わせた規模は0.6%減の7205億9800万円です。

一般会計歳入のうち、市税収入は1660億円で前年度比6.2%減。固定資産税は増収の見込みですが、法人市民税と個人市民税が昨今の経済状況から減収となるとの予想で、不足される財源は市債や基金からの借り入れ等で確保します。主な内訳は、市債発行額が445億4800万円で前年度比11.3%増、交付税措置される臨時財政対策債が105億円増の245億円です。

平成22年度の主な新規事業としては、民主党政権による子ども手当の支給のほかは、成年後見支援センターの設置、市税事務所（東部が中央区、若葉区、緑区所管で若葉区役所内に、西部が花見川区、稲毛区、美浜区所管で美浜区役所内に）の設置などで、花見川区に関係するものとしては、旧検見川無線送信所保存調査があります。

ただ、今回の予算は新規事業がほとんどなく、拡充事業も地域周産期母子医療体制の充実や子ども医療費助成対象の拡大、夜間救急初期診療の体制強化など必要性、緊急性が求められるものに留まりました。



## ◎平成22年度予算成立までの経緯（ご報告）

今回の予算議会は大変白熱した議会となりました。今回の論点の最大は、緊縮財政の中で、如何に市民生活に直結した事業の予算を削らず、必要性、緊急性のない事業は先送りし、市民生活に影響を及ぼさず、将来への希望を存続していくかでした。

こうした中、自民党市議団では、まず今回の予算案をもう一度精査し、予算の組み替えの基本方針を立てました。

### ＜予算の組み替えの基本方針（自民党市議団）＞

- (1) 必要性、緊急性に疑義がある事業のうち、現時点において見直しが可能な事業について中止、延期、若しくは削減を実施し、当該予算を子ども、高齢者、自治会の施策又は事業に充当する。
- (2) 必要性は認めるものの、事業内容に見直しを要するものについて、再検討を求める。
- (3) 国直轄事業負担金、県事業負担金、県単独補助金について抜本的に見直すため、事業の必要性、事業効果、負担の合理性などについて検討を行う。
- (4) 経済危機や少子高齢化を念頭に入れながら、市が果たすべき以下の事業分野から代替事業の案を提案する。

この基本方針に基づき、熊谷市長の市長マニフェスト事業のうち、緊急性の低い自治基本条例関係経費や「科学の都」推進経費、千葉都市モノレール延伸凍結のための総合交通政策経費などの中止・延期。千葉ロッテ激励のための市長キャンプ地訪問費用や国際経済交流のための市長ヒューストン市渡航費用の削減などを求め、その削減した費用で、町内自治会への事務委託料、敬老会等経費の一部助成、私立幼稚園就園奨励費補助、はり・きゅう・マッサージ施設利用助成、シルバー健康入浴事業、資源回収促進奨励補助金の前年並みの支給・助成を求め、3月18日の予算審査特別委員会に「予算の組み替え動議」を提出しました。

〔自民党市議団提出 平成22年度千葉市一般会計予算の組み換えを求める動議〕

3月18日の千葉市議会予算審査特別委員会に提出されたが、賛成少数（賛成は自民党のみ）で否決。ただ予算案も、賛成少数（反対は自民党、公明党、新政ちば、無所属）で否決。

平成22年度予算案否決を受け、予算が成立しないと市民生活へ与える影響が多大なことから、最低限合意できる内容で修正案を作成し提出することになりました。

ただ、予備費を使うことは反対で、削減するものを探したのですが見つからず、予算執行にあたって予備費を使わなくてもすむよう対応を求めることにしました。

〔自民党・公明党・新政ちば提出 平成22年度千葉市一般会計予算の修正動議〕

3月19日の千葉市議会本会議に提出。賛成多数（賛成は提出会派のみ）で可決。

修正箇所は、自治会行政事務委託、敬老会補助金、はり・きゅう・マッサージ施設利用助成で予備費6000万円と付け替え。「科学の都」推進も総務費と商工費の付け替え。

## ◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0042

千葉市花見川区花島町480-6

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071